

グリーフサポートせたがや 2018年度活動報告



活動期間
2018年7月1日～
2019年6月30日

2018年度はグリーフサポートプログラムへの中高生の参加が増えてきましたが、それでもまだまだ情報が届きづらい若者に向けた冊子『グリーフを抱えた10代のあなたへ』を発行し、世田谷区内すべての児童館に世田谷区保健所から届けることができました。

また、「ありがとうブック (<https://www.39book.jp/supporter/welfare/griefsupportsetagaya/>)」さんや、「おてらおやつクラブ (<https://otera-oyatsu.club/>)」さんなど、他団体からのサポートもあり、活動の輪がますます広がってきました。

サポートプログラム

子どもプログラム、大人プログラム、パートナー死別ピアサポートプログラムの参加者数は、子どものべ47名、大人のべ124名、参加したファシリテータのべ203名でした。中高生の参加が増えてきています。



ファシリテータ養成講座

2018年度は2回のファシリテータ養成講座を開催し、参加者は20名(うちファシリテータ登録は18名)でした。



個別相談

対面相談の来談者はのべ49名、電話相談の利用者はのべ48名でした。
個別相談は世田谷区グリーフサポート事業の補助により初回は無料です。

サポコミュカフェ

サポコミュカフェは参加者のべ101名でした。『教育現場におけるグリーフサポート』上映会やグリーフサポートせたがやを取りあげた修士論文の発表会も開催し、たくさんの方にご参加いただきました。

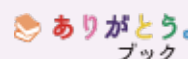


ご寄付をお願いしています

グリーフサポートせたがや「サポコハウス」を継続的に運営するためにご寄付をお願いしています。
詳しくは、sapoko.org/support をご確認ください。賛助会員も募集しています。ぜひ継続的にご支援いただけると嬉しいです。

会費:個人 1口 5,000円、団体 1口 10,000円(会計年度7月1日～翌6月30日)。

不要になった本やCD、DVDで寄付できる仕組み「ありがとうブック」さんでの支援もできます。
<https://www.39book.jp/supporter/welfare/griefsupportsetagaya/>



いつもご支援ありがとうございます！

「グリーフサポートせたがや」の活動はすべてボランティアと助成金で行っています。皆様からの賛助会費やご寄付は、サポートプログラムや、サポコハウスの運営費として大切にに使わせていただいております。

講座・ワークショップなど

全3回にわたる連続講座「グリーフとわたしのなかの生きるちから～さまざまな道をともに歩む」を開催し、講演録を発行しました。連続講座では手話通訳およびノートテイクを提供し情報保障を行っています。



第1回 あいまいな喪失とトラウマからの回復
石井 千賀子さん



第2回 子どものグリーフと遊びのちから
小嶋 リベカさん



第3回 グリーフサポートとアートのちから
倉石 聡子さん



講演録「グリーフとわたしのなかの生きるちから～さまざまな道をともに歩む～」

新たに「グリーフを抱えた10代のあなたへ」を発行

10代の若者に向けた冊子を発行しました。内容はダギーセンターの資料をもとに、日本向けにアレンジしたもの。これからもグリーフサポートを広く届けることができるように、さまざまなかたちで情報発信を続けていきたいと考えています。

冊子PDFは下記URLからダウンロード出来ます。

http://sapoko.org/Tips_for_Grieving_Teens.pdf



2018年度決算報告

2018年度収支報告(2018年7月1日～2019年6月30日)

収入		支出	
会費	475,000	グリーフに向き合うスペース運営事業	4,759,752
グリーフに向き合うスペース運営事業	557,600	グリーフに関わる普及・啓発事業	3,090,145
グリーフに関わる普及・啓発事業	671,770	管理費	664,331
助成金・補助金	3,691,200	次期繰越	2,081
寄付金	3,110,708		
利息	31		
収入合計	8,516,309	支出合計	8,516,309

※グリーフに向き合うスペース運営事業とは、個別相談、ファシリテータ養成講座にかかる事業。グリーフに関わる普及・啓発事業とは、講座、ワークショップにかかる事業